

全国植樹祭の開催において配慮すべき事項について

福井県開催（H21.6）を例に

福井県では、他県に比べ狭い会場を上手に使いながら、全体的に式典を円滑に運営されていたが、会場の原状回復や会場内のバス駐車場の確保で課題があった。これらの事項を整理すると以下のとおりであり、当県としても参考にすべきところは多い。

区 分	内 容
植 樹 会 場	<p>傾斜が急な会場地はさけるべき</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの参加者が円滑に移動できる動線や、必要な植樹面積の確保が必要である。 <p>式典会場と遠距離になる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場やトイレがきちんと整備されており、参考とすべきである。 <p>植樹用苗木の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者植樹用の苗木は、2年程度前から県内の家庭、団体で育成されたものであり、特徴のある取り組みとして参考とすべきである。 <p>計画的な整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 会場が急ごしらえとの印象を受けたので、計画的な整備が必要
式 典 会 場	<p>会場の跡地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 会場が遺跡を活用した場所で、素晴らしいロケーションであったが、式典終了後には原状回復が必要とのこと。跡地利用を考えて会場を選定すべきである。 <p><small>のだてしよ</small>お野立所の有効利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <small>のだてしよ</small>お野立所は、天皇皇后両陛下の御観覧のお席となる建物であり、県産材を利用することはもちろんであるが、式典終了後、県産材のPR等に有効利用することも考える必要がある。 <p>駐車場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場が狭いため参加者の入退場に時間がかかった。円滑な入退場ができるよう、必要な駐車場の面積を確保すべきである。 参加者が円滑に移動できるよう、よく検証することが必要（バスの乗降や会場への出入り等、参加者の動線を確認） <p>全国から多くの人が集まるイベントであり、交通アクセスの良いところを選定すべきである。</p>

